

センコン物流、営業所の被害状況を更新

Edited By LogisticsToday On 2011/03/24

センコン物流は24日、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）で被害を受けた2営業所の状況をまとめた。

港営業所（宮城県仙台市宮城野区）では、15日時点で事務所（167.4平方メートル）、倉庫（4284.9平方メートル）が水没としていたが、立入禁止区域の解除後に調査した結果、津波による冠水の被害であることが判明した。事務所・倉庫に破損はあったものの、今後、同営業所の事業運営に重大な影響を及ぼす程度の被害ではない、としている。

仙台空港営業所（宮城県名取市）については、第一報で事務所（26.7平方メートル、テナントビル）が崩壊としていたが、その後の調査で営業所が入居しているテナントビルは、津波による火災での一部焼失であることが判明。焼失を免れたことにより、被害は軽微と判断した。

同社では現在、両営業所の再開に向けた準備を進めており、一部の業務は名取本社で再開している。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/12101>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.